

身近なもので工作と実験をして、なぜかを考える!!

第7回「くらりか」理科教室

～プリンカップ、ストローなど身近なものでマクデブルグの

半球を工作し、実験をして真空や圧力について勉強しよう!～

日時：2023年3月19(日) AM 10:00～12:00

会場：若葉台スポーツ・文化クラブ木工室(旧若葉台西中学校)

実験指導：くらりか(蔵前理科教室ふしぎ不思議)

主催：電子顕微鏡でミクロを観る会(後援:若葉台スポーツ・文化クラブ)

定員：15名(新小学4年生以上)

参加費：無料

持ち物：500ml ペットボトル1本、筆記用具、持ち帰り用袋

申し込み方法:下記申込書に記入し、若葉台スポーツ・文化クラブ事務所にお届けください(締め切り3月4日(土)、FAX 921-0404でも可)

【マクデブルグの半球ってなあに】

1654年マクデブルク(ドイツ、サクセン・アンハルト州都)の市長 O.von ゲーリックは、みずから製作した真空ポンプを用いて、金属製の2個の半球殻を合せてその内部の空気を抜き、各球に8頭ずつの馬をつないで左右に引張らせたが、2つの半球は離れなかった。彼はこの公開実験により大気の圧力の大きさを示した。これをマクデブルグの半球という。



【工作・実験の内容】

2個のプリンカップを合わせた内部から空気を抜き真空にするとペットボトルを吊り下げてもプリンカップは離れません。また台所にある2個のステンレスボールで真空を作り、10人の子供でも真空で2つのボールは剥がれない実験をします

くらりか(ふしぎ不思議) 東京工業大学の卒業生が、児童に理科に対する興味を呼び覚ますために結成したボランティアグループです。科学をテーマとして身近にある材料を使った工作・実験・説明による理科教室を各所で開催しています。

(この事業は(公)東京応化科学技術振興財団の「科学教育の普及啓発助成事業」の助成を受けています)...

..... 切り取り線

氏名(ふりがな)	学年	学校名	住所(電話番号)